

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	益子町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	おもてなし補助金事業 (陶器市巡回バス運行)	総事業費		1,009,728	800,000	800,000	800,000	3,409,728
		うち市町支出額		300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000
		うち県交付金		150,000	150,000	150,000	150,000	600,000
2	おもてなし補助金事業 (益子夜市&里帰り ウィーク)	総事業費		677,108	660,000	660,000	660,000	2,657,108
		うち市町支出額		300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000
		うち県交付金		150,000	150,000	150,000	150,000	600,000
3	おもてなし補助金事業 (益子さんぼ市)	総事業費		1,535,670	1,550,000	1,550,000	1,550,000	6,185,670
		うち市町支出額		300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000
		うち県交付金		150,000	150,000	150,000	150,000	600,000
4	おもてなし補助金)事業 (益子の新そば祭り)	総事業費		295,474	476,000	476,000	476,000	1,723,474
		うち市町支出額		196,982	300,000	300,000	300,000	1,096,982
		うち県交付金		98,491	150,000	150,000	150,000	548,491
5	おもてなし補助金事業 (トレラン益子)	総事業費		604,810	650,000	650,000	650,000	2,554,810
		うち市町支出額		58,810	300,000	300,000	300,000	958,810
		うち県交付金		29,405	150,000	150,000	150,000	479,405
6	おもてなし補助金事業 (ポターリングましこ)	総事業費	3,053,500	1,428,000	1,795,000	1,795,000	1,795,000	9,866,500
		うち市町支出額	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	1,500,000
		うち県交付金	150,000	150,000	150,000			450,000
7	おもてなし補助金事業 (益子の雛めぐり)	総事業費		748,700	909,000	909,000	909,000	3,475,700
		うち市町支出額		300,000	300,000	300,000	300,000	1,200,000
		うち県交付金		150,000	150,000	150,000	150,000	600,000
8	益子町地域通貨運営事業	総事業費	1,841,090	869,684	1,071,000	1,071,000	1,071,000	5,923,774
		うち市町支出額	1,841,090	869,679	1,071,000	1,071,000	1,071,000	5,923,769
		うち県交付金	916,043	432,839	510,999			1,859,881
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	4,894,590	7,169,174	7,911,000	7,911,000	7,911,000	35,796,764
		うち市町支出額	2,141,090	2,625,471	3,171,000	3,171,000	3,171,000	14,279,561
		うち県交付金	1,066,043	1,310,735	1,560,999	900,000	900,000	5,737,777

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(陶器市巡回バス運行)事業
事業主体の名称	益子焼販売店協同組合
代表者の名称	代表理事 大塚和美
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子1539-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 益子焼の宣伝、販路拡大 ・設立年月日: ・構成員等: 大塚和美、中山武、小峰由香里、櫻井逸郎、篠原里子、鍛冶浦豊、塚本純子、塚本倫行、大塚好重、塚本央
当該事業に係る地域の現状と課題	観光入込数については平成22年までは一貫して増加(H22年196万人)してきたが、東日本大震災のあった平成23年に大きく減少(158万人)して以降は、横ばい傾向となっている(H24年197万人、H25年189万人、H26年186万人、H27年196万人)。また、宿泊者数についても低調な伸び(H27年2.1万人)となっており、更なる誘客強化や滞在時間の延伸を図ることが課題となっている。一方で陶器市には春と秋を合わせて約60万人の人が集中して訪れ、交通渋滞の問題が出ている。
事業目的	周辺道路の渋滞を緩和するとともに観光客の移動を円滑化し、観光客の町内回遊と消費拡大を図る。
事業概要	<p>陶器市会場巡回バスを運行することにより、観光客の回遊性の向上、町の更なる活性化に繋げるとともに、観光客の誘致を図る。</p> <p>運行概要 運航日: 陶器市期間中の祭休日 1日21便 益子駅西臨時駐車場—益子駅—鹿島神社—城内坂バス停—陶芸メッセ入口—つかもと広場—つかもと広場—つかもと広場—陶芸メッセ入口—城内坂バス停—益子町役場—益子駅西臨時駐車場</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	観光客入込数 186万人(H27)→250万人(H32)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H28年度	H29年度	H30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	陶器市会場巡回バスの運行	陶器市会場巡回バスの運行	陶器市会場巡回バスの運行		
事業費	763,264	1,009,728	800,000	2,572,992	800,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	0	150,000	150,000	300,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	463,264	709,728	500,000	1,672,992	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	菅山幸恵
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.masiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(益子夜市&里帰りウィーク)事業
事業主体の名称	益子夜市実行委員会
代表者の名称	実行委員長 外池茂樹
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子1539-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的:夏場・夜間の集客、ジャンルを超えたおもてなしの提供 設立年月日:平成25年 構成員等:外池茂樹、大塚和美、上野一己、仲野信吾、大塚達、菊岡祐子、櫻井逸郎、神谷耕司、馬場章信、塚本倫行、塚本裕昭、大塚道男、神田智規
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>近年、陶磁器の需要は減少しており、基幹産業である益子焼のH25年の販売額は32億円で、H10年の95億円の約1/3に減少している。また、夏場・夜間の集客が弱く、売り上げが落ちている。このような状況下で、城内坂の焼き物店で夜間の営業と歩行者天国にしての町内の飲食店、農家等ジャンルを超えた催しを実施することで益子焼の消費拡大のきっかけを創出することが必要である。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>夏場・夜間に陶器やクラフトに限らずジャンルを超えたおもてなしを提供することにより、若者や子育て世代を中心とした誘客強化と滞在時間の延伸を図るとともに、町内内部での連携強化を実現する。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行い、来場者をおもてなしする。周知の為のポスターチラシ作成。夜の安全確保のための照明、保険、看板設置、警備員配置を実施する。</p> <p>実施時間:18:00~21:30</p> <p>実施内容: ましこ音楽祭:益子にゆかりのあるアーティストによるストリートライブ マルシェ:飲食店、農園、商工会、祭若組等による飲食の提供、益子焼や灯りなどの雑貨の展示販売 浴衣着付けサービス ラジオ放送 役場職員ボランティアによるゲーム催事や受付案内</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	観光客入込数 186万人(H27)→250万人(H32)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H28年度	H29年度	H30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う	城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う		城内坂を歩行者天国にし、演奏や町内各団体による企画イベントを行う
事業費	660,000	677,108	660,000	1,997,108	660,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	0	150,000	150,000	300,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	360,000	377,108	360,000	1,097,108	360,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	菅山幸恵
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(益子さんぼ市)事業
事業主体の名称	里山通りの会
代表者の名称	岩下 武
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子3062-5
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 手仕事の町益子をアピールするために様々な種類のクラフト作家による出展を行う ・設立年月日: 平成20年 ・構成員等: 岩下武、太田幸博、井上敏一、井上明、岩下哲夫、小野沢則子、川尻ゆみ子、見目木実、佐藤麻奈、白樫キミエ
当該事業に係る地域の現状と課題	益子町は古くから益子焼をはじめとする手仕事の町として発展してきた。しかし近年、陶磁器の需要は減少しており、基幹産業である益子焼のH25年の販売額は32億円で、H10年の95億円の約1/3に減少している。このような状況下で、観光消費の拡大や雇用の創出を図るためには、益子焼に限らず様々なクラフトのイベントを実施することでそれらを町外へのPRすることが必要である。
事業目的	手仕事の町益子を町外にアピールし、若者を中心とした更なる交流人口の増加を図るとともに、陶芸・クラフト等の地域文化やライフスタイルを提案することにより、町へのUターンや起業を促進する。
事業概要	<p>実施時期: 9月16~18日 10:00~16:30 場所: 陶芸メッセ大駐車場及び共販センター北駐車場 ささまざまな種類のクラフト作家による出展(布、木工、革、金工、陶、アクセサリ等)のクラフト作家の展示、販売、実演を行い、作家の応援、モノの楽しさの共有、モノを通して人と人との出会いの場の提供を行う。また、会場周辺で飲食ブースや演奏などのイベントを行い回遊させる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	観光客入込数 186万人(H27)→250万人(H32)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H28年度	H29年度	H30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライブ	クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライブ	クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライブ		クラフト作家による出店 と飲食ブース、音楽ライブ
事業費	1,550,211	1,535,670	1,550,000	4,635,881	1,550,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	0	150,000	150,000	300,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,250,211	1,235,670	1,250,000	3,735,881	1,250,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	菅山幸恵
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mamshiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(益子の新そば祭り)事業
事業主体の名称	益子の新そば祭り実行委員会
代表者の名称	会長 外池茂樹
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子159-2
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 益子産そばの周知、普及を図り、生産の拡大と観光誘客 設立年月日: 平成18年 構成員等: 塚本裕昭、塚本裕、浦壁秀明、大塚和美、岡田啓一、鍛冶浦豊、黒子秀夫、小玉貴浩、高橋美江、鈴木幸一、塚本倫行、外池茂樹、仁平勝吉、細野誠、渡辺重雄、神田智規
当該事業に係る地域の現状と課題	地域ブランド調査2016では、益子焼きの認知度は高い総合順位を前年(459位)から377位と上げたものの、観光地でありながら低位であり、町について深く認知されていないのが現状である。益子町はそばの生産が盛んでそば店も多い。観光消費の拡大や雇用の創出を図るためには、そういった資源を磨きあげ、PRすることが必要である。
事業目的	益子産そばの周知・普及を図り、益子焼だけでない益子の魅力、ブランド力を向上させ、観光誘客をはかる。益子焼の販売店とコラボした新そばめぐりのイベントを行うことで町内を回遊し益子焼の消費拡大を促す。
事業概要	<p>周知のためののぼり旗設置、チラシポスターの製作、広告掲載、新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。 実施時期: 11月~12月 実施内容: 抽選会(1,000円食事することに1回抽選ができる) 抽選会の景品を食事券や益子焼販売店の割引券にすることで再来や益子焼の消費拡大につなげる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	観光客入込数 186万人(H27)→250万人(H32)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H28年度	H29年度	H30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。	新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。	新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。		新そばめぐりキャンペーン(抽選)の実施。
事業費	476,000	295,474	476,000	1,247,474	476,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	196,982	300,000	796,982	300,000
うち県交付金	0	98,491	150,000	248,491	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	176,000	98,492	176,000	450,492	176,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	菅山幸恵
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(トレラン益子)事業
事業主体の名称	益子いくべ会
代表者の名称	会長 石田弘
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子2842
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:雨巻山の登山道の整備と登山愛好 ・設立年月日:平成?年 ・構成員等:石田弘、仁平輝雄、芝山哲、城野徹、瀬田昌也、小松原政彦、佐藤千大、高井知奈、大塚和美、酒寄剛史、横山真介、木下義弘、山本照子、箕輪美智子
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>観光入込数については平成22年までは一貫して増加(H22年196万人)してきたが、東日本大震災のあった平成23年に大きく減少(158万人)して以降は、横ばい傾向となっている(H24年197万人、H25年189万人、H26年186万人、H27年196万人)。また、宿泊者数についても低調な伸び(H27年2.1万人)となっており、更なる誘客強化や滞在時間の延伸を図ることが課題となっている。益子町には、初心者から上級者まで楽しむことができ、植生豊かな雨巻山があり、そういった観光資源を活用することや幅広い層にPRすることが必要である。</p>
事業目的	<p>雨巻山やその周辺の里山を駆けることにより、豊かな自然をより多くの人と共有し、かつ益子町の地域活性化を図ることを目的としている。新たな体験型観光の資源として雨巻山を活かし、交流人口の増加と滞在時間の延伸を図る。</p>
事業概要	<p>実施日:12月第1土曜日が第2土曜日の1回 山の愛好家と地元自治会が連携を組み、手づくりで雨巻山を走る大会を催す。 地元自治会による地元食材の軽食でランナーをもてなす。 サポートランナーを点々と配置することで山の素晴らしさを伝えつつふれあい機会を設ける。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>観光客入込数 186万人(H27)→250万人(H32)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H28年度	H29年度	H30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	トレイルランニング大会の実施。	トレイルランニング大会の実施。	トレイルランニング大会の実施。		トレイルランニング大会の実施。
事業費	640,700	604,810	650,000	1,895,510	650,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	58,810	300,000	658,810	300,000
うち県交付金	0	29,405	150,000	179,405	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	340,700	546,000	350,000	1,236,700	350,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	菅山幸恵
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(ポターリングましこ)事業
事業主体の名称	ポターリングましこ実行委員会
代表者の名称	実行委員長 外池茂樹
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子159-2
事業主体の概要	団体の目的:ポターリングましこの企画立案及び運営を行うこと 設立年月日:平成25年10月16日 構成員:益子町観光協会、商工会、やきもの販売店組合、役場、 主な活動:ポタリングイベントをはじめとした、自転車による地域活性化。平成25年に第1回実施(参加者350名) 協力:チューリングましこ(サイクルチーム)、悠楽塾(益子町民大学の修了生のグループ)、観光ボランティアガイドましこ、ましこサポーターズクラブ(ましこファンクラブ)、ましこのマルシェ
当該事業に係る地域の現状と課題	自転車ライダーチームチューリングましこの存在と自転車で走り回るのはちょうど良い里山の景色や中世の文化財、カフェなどが点在している。
事業目的	益子の魅力である里山、中世の文化財、カフェ等にゆっくりと自転車で走ること体感していただき、さらなる自転車ライダーの誘客を図るため。
事業概要	自転車でゆっくり走るポタリングを陶器の町ということで「ポターリングましこ」として実施。エイドではパンや果樹などの益子の特産品をふるまい、ランチ券で町内にあるカフェに誘導する。ゲストライダーで盛り上げ、地元自転車チームがサポートライダーとして安全面を確保した。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	観光客入込数 186万人(H27)→250万人(H32)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H28年度	H29年度	H30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ポターリングましこの実施	ポターリングましこの実施	ポターリングましこの実施		ポターリングましこの実施
事業費	1,695,300	1,428,000	1,795,000	4,918,300	1,795,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	150,000	150,000	150,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,395,300	1,128,000	1,495,000	4,018,300	1,495,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	菅山幸恵
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	おもてなし補助金(益子の雛めぐり)事業
事業主体の名称	益子の雛めぐり実行委員会
代表者の名称	委員長 塚本ゆ美子
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子1539-2
事業主体の概要	団体の目的:益子の雛めぐりの企画立案及び運営を行うこと 設立年月日:平成21年 構成員:塚本ゆ美子、中山久美、橋本郁子、直井雅子、櫻井敦子、大塚ゆかり、井上美智代、小野沢則子、佐藤麻奈、関教寿、濱田雅子、宮澤聖法子、神田智規、栗谷昌克、日渡君江、高橋美江、大塚和美、塚本裕昭、齊藤哲雄
当該事業に係る地域の現状と課題	ギャラリーやショップが1km以上もある城内坂。益子焼をはじめとする手仕事文化として発展してきた。一方で近年、陶磁器の需要は減少しており、基幹産業である益子焼のH25年の販売額は32億円で、H10年の95億円の約1/3に減少している。このような状況下で、観光消費の拡大や雇用の創出を図るためには、中世の文化財をはじめとする古い建物が多く、着物が似合う町であるような益子焼以外の地域資源の磨き上げやそれらの町外へのPRが必要である。
事業目的	益子ならではの陶雛、土雛、吊るし雛などを展示販売し、観光客を誘致する。また、各会場が連携して事業を実施し、おもてなしするとともにクリスマスラリーにより観光客が各会場を回遊することにより、誘客強化と滞在時間の延伸を図るとともに、通年型のにぎわう観光まちづくりを実現する。
事業概要	実施期間:2月上旬~3月上旬 実施内容: オープニングイベント「陶の郷 益子de 雛コレクションVOL.2」…着物ファッションショー 「吊るし雛」「雛段飾り」の展示 折り紙でつくる「吊るし雛」の展示 「益子焼で祝う雛祭り」の開催 「雛作品」の展示 ワークショップの開催 クイズラリーの開催…雛に関するクイズをラリーにすることで回遊を促す 着物着付け体験「きものさんぽ@益子の雛めぐり」
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	観光客入込数 186万人(H27)→250万人(H32)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	H28年度	H29年度	H30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	益子の雛めぐりの実施	益子の雛めぐりの実施	益子の雛めぐりの実施		益子の雛めぐりの実施
事業費	909,000	748,700	909,000	2,566,700	909,000
市町支出金 (ソフト事業分)	300,000	300,000	300,000	900,000	300,000
うち県交付金	0	150,000	150,000	300,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	609,000	448,700	609,000	1,666,700	609,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	観光商工課 タウンプロモーション係
担当者名	菅山幸恵
電話	0285-72-8846
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	益子町地域通貨運営事業
事業主体の名称	益子町地域通貨運営委員会
代表者の名称	委員長 塚本裕昭
事業主体の所在	益子町益子2030番地 益子町観光商工課内
事業主体の概要	<p>益子町の「地域経済活性化」「地域活動・ボランティア活性化」「コミュニティ活性化」等に寄与する「益子町地域通貨」の本運用に向け、関係機関と協力し、委員会委員の意見を聴取し、試験運用に反映させることを目的としてスタートし、平成29年度から本運用を開始した。</p> <p>・設置：平成26年6月27日(検討委員会) ・構成委員：益子町商工会、社会福祉協議会、道の駅まじこ関係、子育て支援指導者、環境ボランティア団体、ほか益子町役場関係課職員。平成29年4月1日から運営委員会となった。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>近年、町の政策等により、官民協働や市民活動が打ち出されているが、現状として、ボランティア活動など法定通貨では評価されにくい。また、町内外に大型店舗が進出し、町内の小売店の売り上げは落ちる一方である。特に、「栃木県市町村民経済計算」によると、平成14年度には720億円あった町内総生産は、大企業の撤退した平成22年度には408億円にまで落ち込んだ。東日本大震災後減少していた観光客数は、陶器市をはじめとするイベント等の開催により観光客数は回復してきているが、平成25年度の町内総生産は506億円にとどまっているため、商工業者は非常に厳しい環境から抜け出せない状況である。また人口減少についても、生産年齢人口である20歳代～30歳代の転出超過が顕著である。このため、人口減少に歯止めをかけ、いかにして地域経済、地域・ボランティア活動、コミュニティの活性化を図るかが課題である。</p>
事業目的	「地域経済活性化」「地域活動・ボランティア活性化」「コミュニティ活性化」等を図る。
事業概要	<p>【第1期～第2期試験運用(H26.10-H29.3末)】</p> <p>第1期(H26.10-27.9)は、通貨の名称・単位・デザインが決定し、発行先、および利用店舗の募集を開始し、78店舗が加盟店となった。H26.10月から広報紙等による制度の周知を開始すると同時に、ボランティア活動や、資源物回収を実施している自治会等への配布を開始した。</p> <p>第2期(H27.10-29.3)は、上記の取組を継続するほか、H28年10月には、18歳未満の子を持つ世帯に対し、子ども1人あたり1万円分の地域通貨を配付し、子育て支援事業として実施した。また、個人や商店間での流通の促進のために、地域通貨取扱店のぼり旗を作成し、配布した。また、地域通貨による納税、地域活性化ファンド等、新たな活用方法についての検討をした。検討委員会では、地域通貨事業全体のうち、通貨概要の検討・決定、通貨の印刷・発行、PR等を通じた利用促進等の業務を担当し、通貨の換金業務については町商工会が担当することを実施した。</p> <p>【H29.4本格的運用】</p> <p>H29.4月以降は「検討委員会」から「運営委員会」となり、地域通貨の本格運用開始。今年度は、さらなる目的推進のため、下記の内容を実施した。</p> <p>①民間循環の促進のため、個人でも地域通貨を購入できるようにした。 ②利用店舗の加入拡大 ③地域活動推進のため、自治会や各種団体に購入できるようにし、地域通貨を社会福祉協議会へ寄付できるようにした。 ④子育て支援として、子育て応援手当を地域通貨で配付した。</p> <p>【H30年度】</p> <p>前年度の取り組み状況を踏まえ、引き続き地域経済活性化、地域活動・ボランティア活性化、コミュニティ活性化を図るためのツールとなるよう、実施していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>(基本目標)</p> <p>幸せを感じる暮らしをつくる 「幸せな暮らしと感じる人」の割合：H26年度9%→H31年度78%、H32年度80%【H27実績90.8%】</p> <p>幸せを感じる暮らしをつくる 人口の社会動態：H26年度△24人→H31年度±0人【H28実績△125人】</p> <p>社会的に自立した人を育てる 「地域・社会活動をする人」の割合：H26年度56.4%→H31年度64%【H27実績54.9%】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度	29年度	30年度	支援期間の事業費計	
				28年度	29年度
事業内容	①名称等の決定 ②発行先の選定、利用店舗の募集 ③地域通貨の発行 ④町民への周知 ⑤流通促進の仕組み構築 ⑥新たな活用方法についての検討	①民間循環の促進 ②利用店舗の拡大 ③地域通貨の発行 ④町民へ利用方法の周知 ⑤新たな活用方法についての検討 ⑥寄付の実施	①民間循環の促進 ②利用店舗の拡大 ③地域通貨の発行 ④町民へ利用方法の周知 ⑤新たな活用方法についての検討 ⑥寄付の実施		
事業費	1,841,090	869,684	965,000	3,675,774	965,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,841,086	869,679	965,000	3,675,765	965,000
うち県交付金	916,043	432,839	477,000	1,825,882	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4	5	0	9	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	産業建設部観光商工課商工係
担当者名	高塩 悦子
電話	0285-72-8845
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp